

別府大学英語・英文学会報告 <1977>

本年度(1977年)の学会は12月10日(土)に持たれ、会場の「記念館」講義室は、学生、教職員、来客で満員の盛況を呈した。新しい試みとして、学生の「暗誦大会」が持たれ、約20名の学生が参加した。中には文句を忘れて、途中でつまったりする人もいたが、全体として好成績だったと思う。審査基準は「暗誦力」「英語」「表現」で、入賞者、参加者にはそれぞれ賞が贈られた。入賞者は次の通り——

- 1位 英文科3年 植田 敬
- 2位 英語科1年 神品 博子
- 3位 英文科2年 専頭 徳明

当日のプログラムは次の通りである。

午前の部 (9:30~12:00)

暗誦大会 英語科、英文学科学生参加

(研究報告)

- ◎ 「レクレーション」の英語
英語科2年 大 観 真理子
- ◎ 「ロミオとジュリエット」について
英文科4年 福 岡 弘 子
- ◎ P. B. Shelley の「理想主義」について
英文科4年 松 岡 絹 子
- ◎ パール・バックの「大地」について
英文科4年 堤 輝 夫

~~~~~  
午後の部 <13:00~15:00>

講演——『シェイクスピアへのアプローチ』

梅光女学院大学教授 後 藤 武 士